

地域協働学校だより No.3

令和4年6月30日
新宿区立市谷小学校
地域協働学校運営協議会

地域協働学校からのご報告です。牛込警察署によるセーフティ教室を見学させていただきましたのでご紹介させていただきます。

牛込警察署生活安全課によるセーフティ教室

蒸し暑い日となった6月18日(土)、生活安全課少年係から2名お越し頂き、3年ぶりに対面でセーフティ教室が行われました。異学年で同時に参加できるようになり、体育館に2学年ずつ集まって大切なお話を聞きました。また、一般公開され多くの保護者が参加してくださいました。

【 万引き 】 ～ ルールを守って自分を大切にしよう ～

1時間目、1、2年生に万引きについてのお話がありました。少年係さんからの質問にも児童の皆さんは元気よく答えていました。お店のものを盗ったらそのお店が倒産してしまったり、両親が自分のことを「また万引きするのでは」などと信じてもらえなくなったりすることを学びました。場合によっては児童相談所に行き、家族と暮らせなくなることもあります。周りの人も自分も本当に悲しい思いをし、自分も傷ついてしまうことを学びました。続いて万引きについての動画を視聴しました。動画では、友達のものなどを羨ましく思って自分のものにしたい気持ちになっても、盗まれたお友だちの気持ちや状況をよく考え、絶対に勝手に使ったり盗んだりしないことを学びました。また、万引きを手伝っただけでも同じ罪になることも知りました。急遽、少年係の方が2年生の日直さんにお友だちが万引きをしているときや、誘われたときにどう答えるか聞くと「だめ!」としっかり答えてくれました。1、2年生の皆さんは少年係の方のお話や動画を真剣に聞き入っていて、万引きは犯罪だとよく理解してくれているようでした。

- 返すつもりだった…
- 勝手に使った
- 後でお金を払うから…
- 万引きを手伝っただけ
- 万引きをやらせた
- 万引きを誘われてやった

全部罪です!



【 ネットワークの使い方について 】 ～ 家族とルールを決めてマナーを守ろう! ～

2時間目に3、4年生、3時間目に5、6年生に「ネットワークの使い方について」の授業がありました。SNSにどんなものがあるかについて聞かれると、児童のみなさんよく知っていて元気よく手を挙げてたくさん答えていました。



まず、その使い方について気を付けることを教えていただきました。①気を付けて文を作ること。対面でないため、書き方によっては誤解を生むことがあること。悪口を絶対書かないこと。思いやりの心をもって使ってほしい、とのお話でした。②自分が撮った写真をネット上

(=全世界)に公開するときの問題点について意見を出し合いました。電柱に住所が書いてあったり、目立つ建物やマンションなどから自分の住んでいる場所が特定されたりしてしまうことも学びました。③一度ネット上に流れたものは消すことが不可能なこと。そのため、オンライン上で個人情報やりとりしないこと。悪い大人かもしれないので、誘いにはのらないことなどを学びました。④「依存」については、ひどくなるとスマホやゲーム機器をお風呂場まで持ち込んで手放せない人もいるとお話がありました。時間を決めて正しく使うことが大切です。

続いてインターネットの使用に関する動画を視聴しました。まず、メッセージ交換アプリでの「既読スルー」についてのお話で、すぐに返信できないお友だちを「無視してる」と早とちりしていました。次は、安全だと思ってサイトに登録したら退会にお金がかかるという架空請求詐欺のお話でした。さらに、メッセージ交換ができるサイトに登録した女の子は、趣味の合う女の子と仲良くしていたつもりが実は男の人で、それまでに送っていた写真などで居住地域を特定され「写真を送れ」と脅されていました。危険な場面が次々と出てきて緊張感がありました。困った時に家族に相談できる環境をつくり家族に言える使い方をすること、自分は大丈夫と思込まないこと、家庭でルールを決めることが大切だとわかりました。

5、6年生にはインターネットに上げたものは、すぐに削除したとしても必ず追跡できることについて教わりました。世界のルールで必ず発信元にはIPアドレスが割り振られており、いつ、どの機器で、どこで投稿されたかわかるようになっているそうです。

3、4年生は元気よく、5、6年生は高学年らしくしっかりとした態度でお話を聞いて立派でした。



【 意見交換会 】

PTA 本部役員、校長先生、副校長先生、先生方、地域の方々と意見交換しました。一部ご紹介します。

- ネットを使ってるということは誰かとつながっている、という意識を持ってほしい。便利な反面、危険なところがある。ルールをきちんと守って使用することが大切。
- 現金ではなくカードにチャージして使うことに慣れている児童も多い。品物にお金を払っている感覚が希薄になりがちのため、注意深く見守りたい。
- チャージをする場合は財布がわりに利用され、いじめにつながることもある。チャージする金額もきちんと保護者で確認してほしい。
- ネット上の誤解やトラブルも直接話すなどコミュニケーションをとることで回避出来ると思うので、LINE やメールは便利だけでもやはり直接のやり取りが大事。
- 家庭のルールも大切。けれども大人の意見だけで決めるのではなく、子どもと話し合っ



意見交換会ではたくさんの先生から事例など聞くことができました。少年係の方から貴重なお話も伺え、有意義なものとなりました。子どものみならず大人にも役立つ内容で、今後の安全な生活に役立てていただければと思います。

地域協働学校だよりの最新版は市谷小のホームページのトップページ、バックナンバーは以下の URL から
https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/kyoudou_main1.html